

特定非営利活動法人 絆

平成29年度 事業報告書

事業実施の方針

- ・「困った時はおたがいさま」の心で助け合い、助け合いの輪を地域に広げる。
- ・一人ひとりの困難に向き合い、その人がその人らしく生活できるよう、心に寄り添う支援を行う。
- ・世代を超えた人と人との絆を大切にし、お互いに学び合い、支え合いながら、生きがいや自己の実現につなげる。

事業の実施に関する事項

1. 特定非営利活動に係わる事業

① 在宅福祉サービス事業

○ たすけあい事業

根拠事業 自主事業

事業概要 現行の公的制度では対応で

きない家事援助、身体介護、話し相手、子育て支援、代行などの在宅支援や、家で一人では心配な方、他者との交流を求めている方に、気軽に通える場の提供などを、「困った時はおたがいさま」の心で支援を行った。

○ ごみ出し支援事業

根拠事業 東浦町委託（環境課）

事業概要 避難行動要支援者名簿に登録されている方や、65歳以上の方の中で、ゴミを出すことが困難なご家庭のゴミ出し支援を行った。

○ 子育て支援ヘルパー

根拠事業 東浦町委託（児童課）

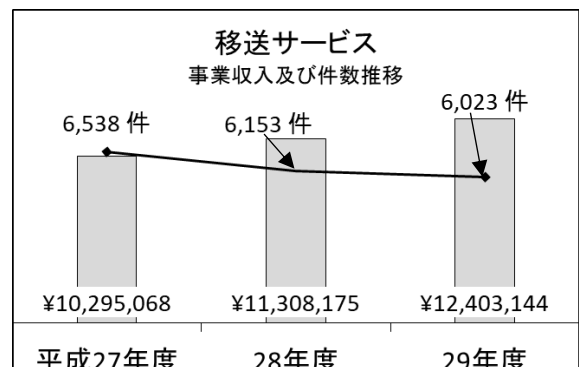
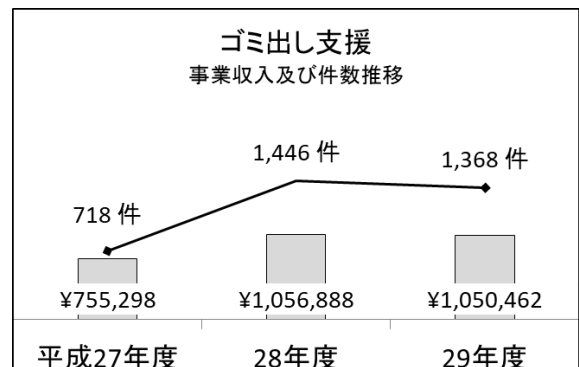
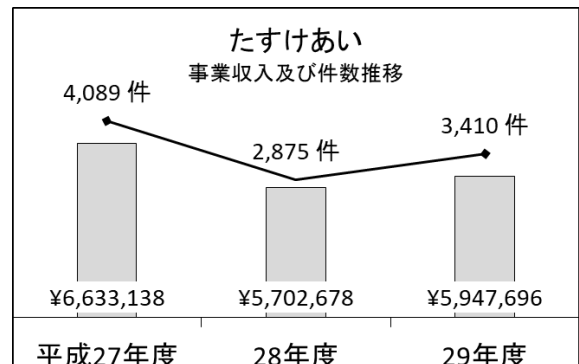
事業概要 様々な要因で、家事または育児を行うことが困難で、日中支援する方がいないご家庭へ、子育て支援を行った。

本年実績 延べ73件

② 移送サービス事業

根拠事業 自主事業

事業概要 通院や買い物、社会参加など外出の際に公共交通機関を利用して出掛けられない方へ、福祉有償運送サービスを行った。



③ 地域ふれあい事業

根拠事業 自主事業

事業概要 「地域の縁側グリーン・ラソ」や「さをり織り教室」「お茶会」などの講座やコミュニティカフェ（風ハウス）を含む催しを通して、地域の中に居場所を提供すると共に、地域の方に絆の事を知っていただく機会を設けた。

- ・ 地域の縁側グリーン・ラソ

昨年12月、東浦町で初めての常設居場所としてオープン。絆にとっても拠点以外で行う新しい試みでした。ボランティアさんによる当番制や、まかないシェフランチ、夜カフェなど、年齢を問わずどなたでも気軽に参加できる新たな仕組みづくりは、地域の底力や「まちづくり」の楽しさに改めて気づかせてくれました。

- ・ さをり織り教室

毎週火曜日・木曜日と月1回土曜日に、さをり織り教室を開催。

12月には「あんきにきて家」、1月には「グリーン・ラソ」で作品展を開催した。

- ・ お茶会

毎月第3水曜日に、風ハウスにて開催。

- ・ コミュニティカフェ

毎月2回ずつ、風喫茶とモーニングカフェを風ハウスにて開催。

「グリーン・ラソ」オープンに伴い、「モーニングカフェ」は10月で終了。



④ 介護保険事業

- 訪問介護・介護予防訪問介護相当サービス・訪問型サービスA

根拠事業 介護保険法

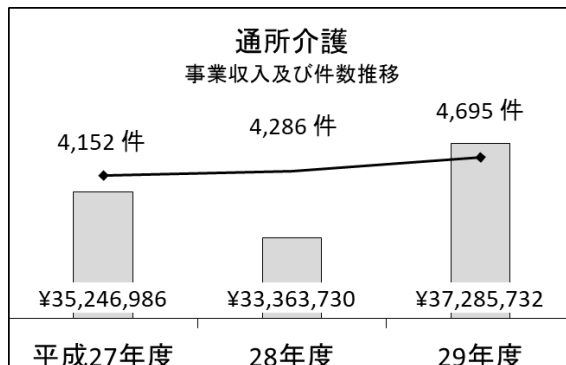
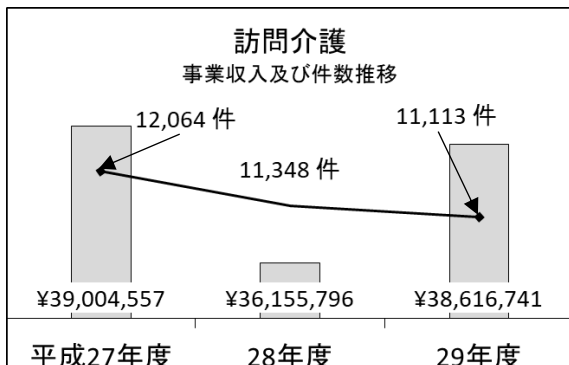
事業概要 介護保険法に基づく訪問介護等の事業を行った。ご利用者の気持ちに寄り添い、いつまでも自宅で暮らし続けるため、生きる希望につながるような支援を心がけた。



- 通所介護・介護予防通所介護相当サービス

根拠事業 介護保険法

事業概要 介護保険法に基づく通所介護等の事業を行った。自己選択・自己決定の仕組みを大切に、ご利用者お一人ひとりの意思を尊重し、生きがいのある、楽しい一日になるよう努力した。



⑤ 障がい者総合支援事業

○ 居宅介護など

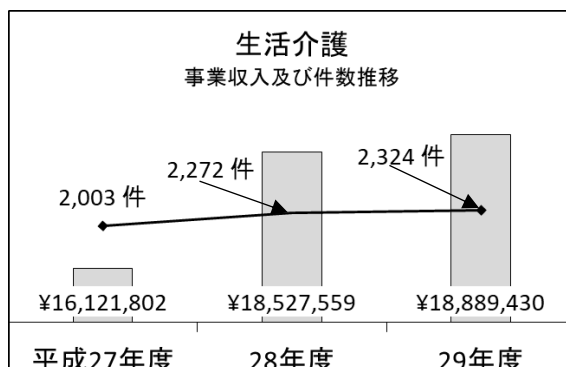
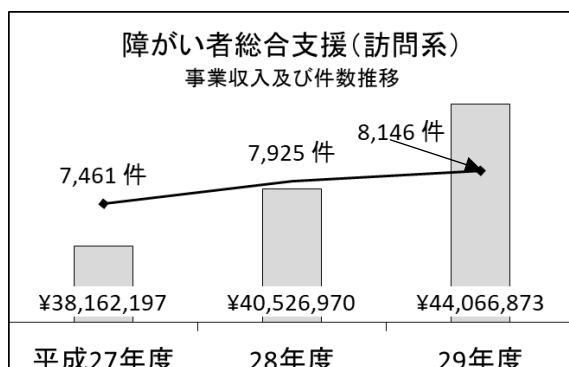
根拠事業 障がい者総合支援法

事業概要 居宅介護、重度訪問介護、行動援護、同行援護のサービスを行う。ご利用者の気持ちに寄り添い、その人がその人らしく暮らし続けられるよう、また生きる希望につながるような支援を行った。

○ 移動支援

根拠事業 障がい者総合支援法

事業概要 地域生活支援事業の移動支援では、ご利用者の気持ちに寄り添い、ご希望に沿った余暇支援などを行った。



○ 生活介護

根拠事業 障がい者総合支援法

事業概要 日常的に介護を必要とする方に対して、日中活動を行った。自己選択・自己決定を大切にし、ご利用者の気持ちに寄り添うよう心がけた。



2. その他の事業

○ 物品販売事業

根拠事業 自主事業

事業概要 会員が作成した手づくり品を販売し、楽しみや生きがい作りにつなげた。また、町内授産施設の生産品を販売することで、生産品販売の促進や障がいに対する啓発活動を行った。

- ・ 絆の玄関ホールにて、野菜やパンの販売やふれあいマーケットを開催した。
- ・ 「於大まつり」「にじいろフェスタ」への模擬店の出店や、「絆まつり」を開催した。
- ・ 3月にイオンモール東浦内にある福祉の店「フクシア」から撤退。新たに「地域の縁側グリーン・ラソ」へ会員の手づくり品などの出品を行った。

3. 委員会活動報告

○ リスク予防向上委員会

年2回、防災訓練（地震・火災）を開催。より安全にスムーズに避難ができるよう、毎回の反省点をもとに対策を考え、次の訓練につなげた。

また、毎年1回委員会で作成したチェックリストをもとに自己監査を実施。必要書類の不備をチェックし、書類の充実を図った。

（藤森）

○ チャレンジアップ（研修）委員会「通称：チャップ」

開催数を減らし、内容重視の講習会を企画。委員会テーマである「共に学びあう」を基に、ご利用者も一緒に参加できる講習会は3度開催した。

これからも、皆様のご意見を取り入れながら、より良い講習会開催をめざしたい。

（宮地）

○ まつり委員会「絆まつり、於大まつり、にじいろフェスタ（福祉まつり）」

今回の絆まつりのテーマは、「∞ 無限大 ∞」

ボランティアさんや委員の最大限の力を引き出し、一緒にまつりを盛り上げた。

チャレンジコーナーなども設置し、来場者にも喜んでいただける祭りを企画した。

絆まつりでは、新しいイベントにわくわく。

地域のまつりでは、新しいメニューにチャレンジ！

今後も、完璧ではないけれど助け合える、絆

らしいイベントを考えていきたい。

（友永）



○ 5S（エス）委員会

5Sとは「整理・整頓・清掃・清潔・しつけ」の頭文字をとったもので、キレイで使いやすい事業所へ向けた、職場全体での取り組みのこと。

良くも悪くも常に物で溢れている絆。整理できそうな場所を見つけ、地道に5S計画を立案・実行・啓蒙するという果てなき道に挑んでいる。

（鈴木）

○ シンボルマーク委員会



設立20周年記念で誕生したシンボルマークも、皆さまのおかげですっかり浸透したため、平成29年度は新たなグッズ展開等はせず、もっぱら絆Tシャツとポロシャツの在庫管理に携わった。

来年度は、この総会で発表の「グリーン・ラソ」シンボルマークを普及すべく、新たな取り組みを行いたい。一緒にシンボルマークを育てていく新メンバーを大募集中！

（鈴木）

